

かけはしんぶん

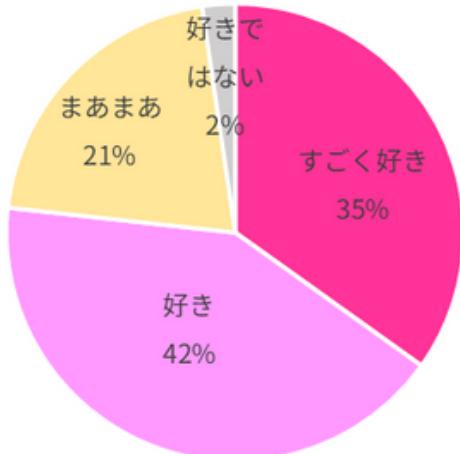


一年を振り返って【こどもたちの声】

この一年を振り返り、こどもたちがアンケートで様々な声を聴かせてくれました。残念ながらここに載せきれなかったものもありますが、こどもたちの声はどれも、ハッとさせられたり、感動したりするものでした。アンケートに答えてくださったみなさん、気持ちを伝えてくださいって、本当にありがとうございます。

どうろく 登録のご家族 6 1名 中
めい かた かいとう
4 3名の方が回答
かいとうりつ
(回答率 70%)

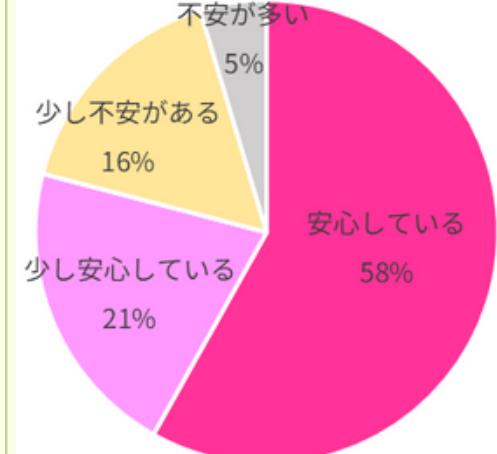
かけはしの居場所は好きですか？



たくさんのかどもたちが『好き』と言ってくれて、本当に嬉しいです。

一方で、『好きではない』と教えてくれた子どもの気持ちも、大切に受け止めたいと思っています。

居場所では安心して過ごしていますか？

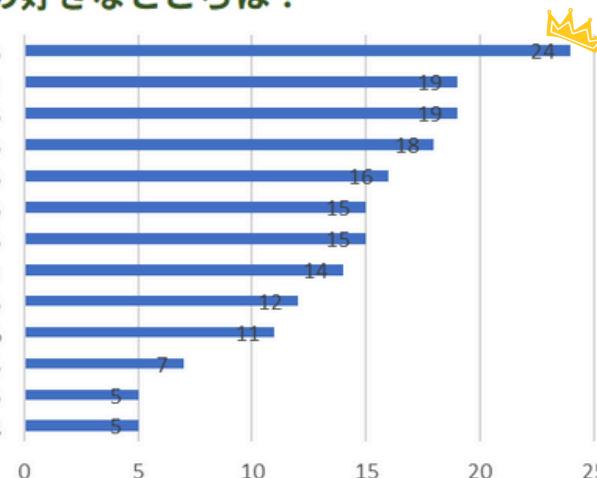


不安がありながらも通ってくれているこどもたちがいます。

少しでも安心して過ごせる居場所になるように、こどもたちの気持ちに寄り添っていきたいです。

かけはしの好きなところは？

- もじやくん,ちーさん,えりさん,ともちゃんに会える
- 友だちに会える
- 自分に合わせてくれる
- 自分で何をするかきめられる
- 自分の話をきいてもらえる
- ボランティアさんに会える
- 新しい体験やイベントがある
- 体育館や公園など体を動かす遊びができる
- かけはしに行くと気分がよくなる
- タブレットを使って好きなことができる
- わくわく農園で野菜作りができる
- レジン、フェルト、ビーズなど制作ができる
- その他

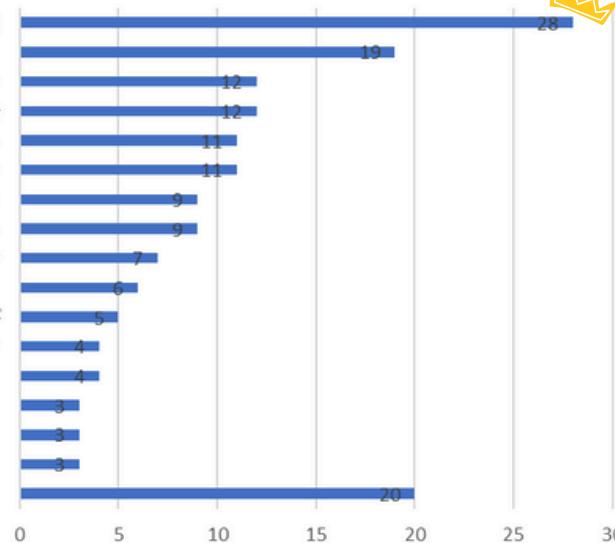


様々なイベントより、スタッフやお友達に「会えるところ」という意見が多くかったです。

「会いたいな」、「話したいな」、子供たちが求める温かい関わりを今後も叶えていきたいです。

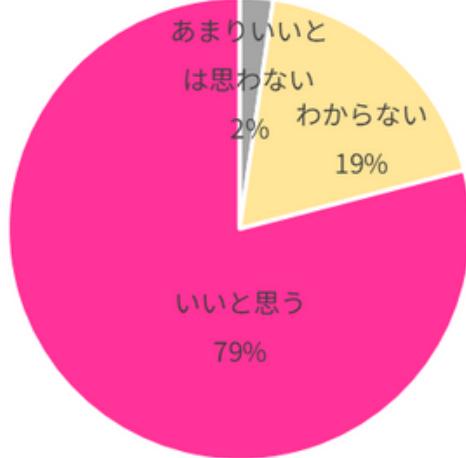
たの楽しかったことは何ですか？

- 何もイベントがない日
- なつまつり
- ログハウスに行こう
- クリスマス会
- 作って食べよう
- やきいもを食べよう
- 体育館（たいいくかん）に行こう
- 作って楽しもう
- ハローウィーン
- わくわく農園（のうえん）
- 水遊（みずあそ）び
- もちつき
- さつまいもクッキング（好きな料理をそれぞれつくる）
- 田うえ、いねかり、おもちつき（天王森泉公園）
- レモネードスタンド活動（かつどう）
- かけはしタイム（イベントの話し合い）
- その他（2票以下）



「何もイベントがない日」が、毎年、大・大・大人気！！こどもたちが何よりも求めているものは、いつもの居場所の日常のなにげない会話や安心感なのかかもしれませんね。

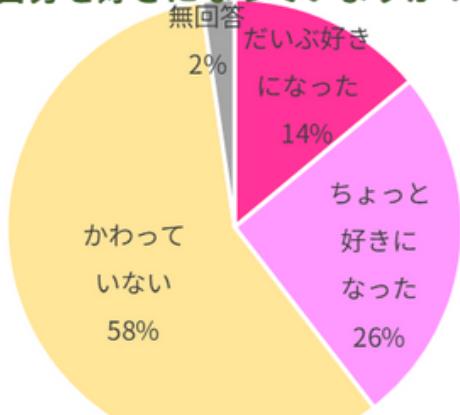
やりたいことを自分で決めてやるのは？



「いいと思う」という声が多く、「自主性が育つ」「好きなことができる」などの意見がありました。

一方で、「わからない」「決められない」という意見や、「周りの人に迷惑がかかるかも」と心配する声もありました。

かけはしに来てから、前より自分を好きになっていますか？



「私は自分が嫌いだけど、嫌いだから『好きになりたい』って、自指せるからいいし、今、自分が好きな子は、『もっと好きになれたらいいね』って、思うから、どちらいいと思う。」と、教えてくれたお子さんがいました。

「こどもたちが自分で決める経験を通して自信をつけ、自分の人生を切り拓く力を育んでほしいと願っています。様々な声を受け止め、それぞれの「自分で決める」を応援していきます。」

今の気持ちがどんなものでも、より良い方に進もうとする力を持っている。こどもたちが伝えてくれる言葉はいつも、大切なことに気付かせてくれます。

かけはしはあなたにとってどんな場所ですか？

楽しさ・活動 (18件)

- 「緊張しなくてすごく楽しいところ」
- 「気分転換になる場所」
- 「とにかく楽しい場所」
- 「好きに遊べる場所」
- 「活動できる場所」など



ひととのつながり・理解 (5件)

- 「大切な場所。友達づくりが出来る。人と会話が出来る。色々な体験が出来る。スタッフさんやボランティアさんが話を聞いてくれる大切な場所」
- 「自分の話を聞いてくれる場所」など

安心感・居心地の良さ (14件)

- 「落ち着くまあまあ安心する場所」
- 「自分に自信を持てるようになった場所」
- 「幸せな場所」
- 「最高の場所」
- 「変わらない場所」など

疲れる・変化への戸惑い (4件)

- 「疲れる場所」
- 「居るとストレスが溜まる」
- 「2年前の和気あいあいとしたかけはしが恋しい」など

学校との関連 (3件)

- 「学校の代わり」
- 「勉強ができる場所(家だと集中できない時がある)」など

かけはしは、楽しさや安心感、人とのつながり、などを感じられる温かい場所であると、多くのこどもたちが答えてくれました。

一方で、「疲れる」という声や、以前のような雰囲気を懐かしむ声もあり、私たちに大切な気づきを与えてくれます。

色々な声に耳を傾け、誰もがより心地よく過ごせるような居場所を目指していきたいです。

居場所がもっと「こうだったらいいな」と思うことは？

子供たちから様々な声が寄せられました (一部抜粋)

- 「色々変わってルールが増えてめんどう。もっと風船みたいに軽くて自由がいいな。」
- 「かけはしにずっと通いたい。なくならないでほしい。」
- 「かけはし大好き！やりたいことができるから。」
- 「大きい音が嫌だから、静かな場所で過ごしたい。」
- 「(中3生)「本当はもっとこれからも通いたい。」



全体として、もっと気軽に自由に通いたいという意見や、静かな環境を求める声がありました。

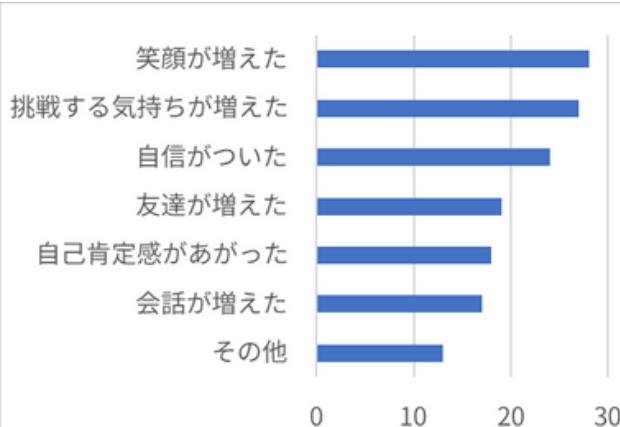
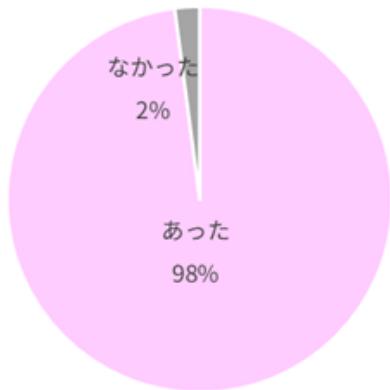
一方で、かけはしが好きで、これからも通いたい、という嬉しい声も多く聞かれました。

これらの声を受け止め、今後の居場所づくりに活かしてまいります。

一年を振り返って【保護者の声】

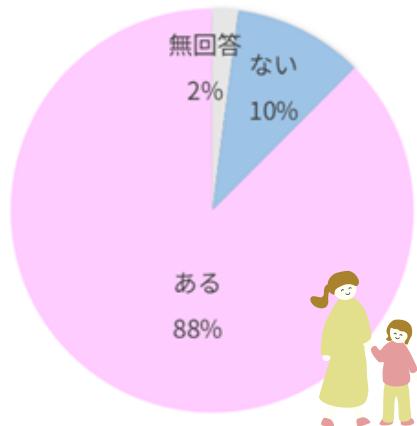
かけはしに来てからのお子様の変化について、保護者の皆様にアンケートで伺いました。お子さんをお一番近くで見てきたご家族登録のご家族61名中
だからこそ見える、お子さんの細やかな変化や、本人も気づいていない成長の様子を教えてくださっています。43名の方が回答
また、ご家族にとってもかけはしが大切な居場所になっていることも、今回のアンケートで感じることができました。
(回答率70%)

かけはしに来てから、お子様の変化はありましたか？



全体の98%の方が、お子様に「変化があった」と実感されています。その他では『自分の居場所ができた安心感が得られたようだ』といったご意見もありました。

お子様がかけはしに来てから、ご自身が変わったな、と思うことはありますか？



多くの保護者が、「ご自身が変わった」と答えてくださいました。
寄せられた声からは、孤独感や不安が軽減され、子どもとの向き合い方が、より前向きに変わった様子が伺えました。

保護者の皆様の声

- 『家族だけで子育てをしていかなくては』と、少しプレッシャーのように感じていたことが、「子どもの育ちと一緒に見守ってくれる、関わってくれる方」ができたという安心感に変わりました。』
- 『孤独ではなくなりました。子どもが楽しんで所属する場ができる、意欲的に利用するので、それを見ていると親の気持ちも晴れやかになる。』
- 『自分自身の人生も大切にしようと思いました。』

かけはしはあなたにとってどんな場所ですか？

子どもの「安心できる居場所」

(27件)

「安心と理解。ともに生きる場所。」「心から、安心して『いってらっしゃい！』と送り出せる居場所です。」「息子に自信、安心、前向きな気持ちを与えてくれた場所」など

親子を支える「心のよりどころ」(20件)

「無くてはならない存在。唯一無二。」「深い愛情で一緒に子育てしてくれるありがたい存在」など

子どもの成長を育む「多様な学びの場」(4件)

「子どもが社会参加できる存在。」「出会い」など

2024.4
~2025.3

まなべるいばしょの一年

今年度はいずみ野の居場所で自由な活動ができました。3年目になる夏祭りを居場所で初開催。毎月一回のつくって食べようとつくって楽しもうでは、こどもたちのやってみたいという声を活かし、自由に調理や制作を楽しみました。

夏祭りのあとに白寿荘さんの駐車場で花火大会の開催、いずみ野のログハウスやいずみ台公園での運動、日本ドローンファイト協会のご協力によるドローン体験、ベリーキャンプ場での火起こし体験など他の団体とつながることで、こどもたちは貴重な体験ができました。

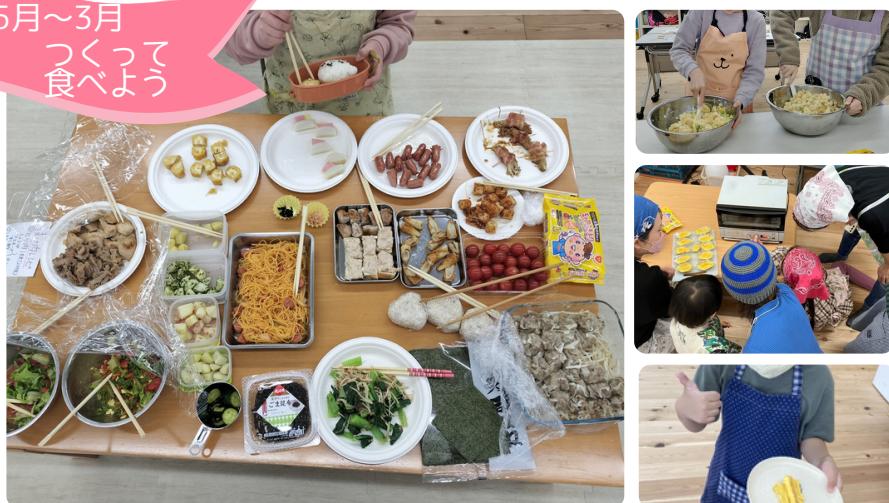
9月

夏祭り



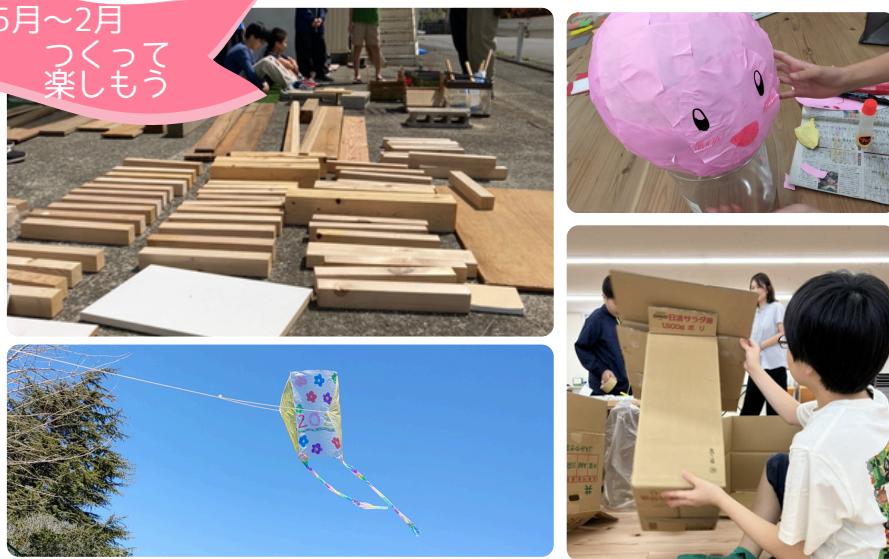
5月~3月

つくって食べよう



5月~2月

つくって楽しもう



- 4月 いずみ台公園に行こう
- たけのこ堀りをしよう
- 5月 ログハウスに行こう
- つくって楽しもう (大工さんと木工作品づくり)
- つくって食べよう (おにぎりとみそ汁づくり)
- プログラミング講座
- 6月 ドローン体験
- 田植え体験・ホタル観察@天王森泉公園
- つくって食べよう (卵料理)
- つくって楽しもう (砂のアート作品づくり)
- 7月 つくって楽しもう (ラメアート)
- つくって食べよう (オリジナル豚丼づくり)
- おもしろ理科実験
- 農園体験
- 水遊び
- 8月 農園体験
- 夏祭りの計画
- 9月 夏祭り
- 水遊び
- かかしづくり
- つくって楽しもう (ステンドグラスづくり)
- 農園体験
- ログハウスに行こう
- 体育館で運動しよう
- プログラミング講座
- 10月 稲刈り@天王森泉公園
- 避難訓練
- スポーツデー@三ツ沢競技場
- レモネードスタンド活動@いずみ野文化祭
- ハロウィン
- ふれあいコンサート
- 農園体験
- ソラトスに行こう
- つくって食べよう (クレープづくり)
- つくって楽しもう (ピニャータづくり)
- 11月 こどもキャリア大学
- つくって楽しもう (カレンダーブル)
- つくって食べよう (さつまいも料理)
- 芸能鑑賞会
- 農園体験
- 12月 餅つきをしよう@天王森泉公園
- つくって楽しもう (クリスマスリースづくり)
- つくって食べよう (クリスマスランチ)
- クリスマスパーティー
- 大掃除
- 農園体験
- 1月 プログラミング講座
- 体育館で運動しよう
- ログハウスに行こう
- つくって楽しもう (夙あげ)
- つくって食べよう (海苔巻き)
- 農園体験
- 焼いもを焼いて食べよう
- 2月 ボッチャ大会
- ログハウスに行こう
- つくって食べよう (お弁当づくり)
- 農園体験
- 3月 豆まきをしよう
- 体育館で運動しよう
- ログハウスに行こう
- プログラミング講座
- 卒業パーティー卒業式
- つくって楽しもう (火起こし体験)
- 農園体験
- お泊まり会 (居場所に宿泊)



事業概要 2024.4.1～2025.3.31

1、学校に行け（か）ないこどもを支えたい

こども×社会～安心して自分らしくいられる場所～

ハートフル西部/まなべる居場所@泉区 ちいきの居場所@旭区

学校に行け（か）ないこどもが、ボランティアや他のこどもたちと一緒に思い思いに過ごしています。小学1年生から中学3年生までが参加していて、「みんなちがう」ということが当たり前。大切にしているのは、やりたいことを「自分で決める」とことです。ボードゲームをしたり、問題を解いたり、小物づくりをしたり、ドッジボールをしたり、おしゃべりをしたり…。安心できると、自然と友達とのかかわりが生まれて、関係を広げたり、深めたりする姿があります。今年から、泉区いずみ野に常設の居場所ができ、つくり続けたり考えを重ねたりする活動が豊かになりました。



居場所 207回開催

参加者 のべ2751名

(含 こべつのいばしょ のべ104名)

こども×こども×体験～こどもが「やりたい」と思ったら、すぐ計画～

イベント

こどもたちが「こんなことをしたい」と話してくれたときに、その思いが実現できるようなイベントを計画します。今年は「お泊まり会をしてみたい」の声から、居場所で初めて宿泊体験をしました。夏祭りは、初めて常設の居場所での開催となり前日からこどもも大人も一緒に準備を重ね、楽しいイベントになりました。また、ハートフル西部として教育委員会主催のお出かけイベント（心のふれあいコンサート、スポーツデイ、芸術鑑賞会）にも参加しました。



こども×自然～太陽と土の恵みでこころを元気に～

わくわく農園

かけはしでは、現在5区画の畑を耕しています。

こどもと保護者、ボランティア、わくわく農園スタッフで野菜を栽培しています。今年は、いちごがたくさん実りました。地域のプロの農家さんも、一緒に活動してくれました。

【これまでに育てた野菜】

- ・ピーマン
- ・ナス
- ・ミニトマト
- ・白菜
- ・さつまいも
- ・紅くるり
- ・にんにく
- ・いちご
- ・長ねぎ
- ・玉ねぎ
- ・大根
- ・じゃがいも
- ・かぶ
- ・虹色草
- など

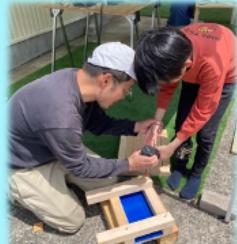


わくわく農園 25回活動

こども×大人×体験～なかなかできないワクワク体験～

特別講座

子どもの興味関心を引き出す特別講座を行っています。その道のプロをお招きし、参加は自由です。すてきな大人との出会い、新しい体験を通して、自分の世界が広がります。今年は、大工、フードコーディネーター、ドローン操縦士、理科実験講師と学びました。また、料理講座（つくって食べよう）とアート講座（つくって楽しもう）を毎月開催しました。



こども×親×学校～子育てと一緒に考えサポートするための窓口～

個別相談・大人のかけはし

個別相談では、公認心理師の飯島万里がご相談を受けました。代表のもじやくんをはじめスタッフも、電話やLINE、対面で相談を受けています。お話をじっくり聴き、一緒に考えます。また、保護者の方同士がつながり合える交流会「大人のかけはし」を毎月1回開催。気軽におしゃべりできるあたたかい雰囲気の中、悩みを分かち合ったり、共感し合ったりできて「話せてよかったです」との声が多くありました。今年は、進路のお話会を開き、卒業生の保護者の方、中学や高校の先生、通信制高校を卒業した学生ボランティアをゲストに迎えて語り合いました。お父さんが集う「おやじのかけはし」や、こどもたちに人気のタンフルづくり、珈琲鳴館さんのご協力で麻袋バックづくりも好評でした。



公認心理師による個別相談 49件 (連2日開催予約制)

電話相談 113件 (入会者は含まず)

2、こどもたちの可能性や世界を広げたい

こども×プロフェッショナル×仕事～魅力的な大人や仕事と出会える～ こどもキャリア大学

様々な職業のプロフェッショナルの方を講師にお招きして、こどもたちが魅力的な大人に出会い、自分の人生を思い描く体験プログラムです。今年は、フレンチレストラン「ペタル・ドゥ・サクラ」のシェフ難波さんをお招きました。魔法のような技を体感した後、親子で鶏肉とフォアグラのパイ包みのデコレーションに挑戦。質問コーナーでは難波さんに生き方にふれました。ゆめが丘のLive Kitchen SORATOSで開催。こどもも大人も感動する体験になりました。



受講者 親子15組

こども×身近な社会×世界～世界を結ぶ、助けよう未来を～ かけはしプロジェクト

こどもたちが地域に出かけ、地域の方とかかわりながら、課題を解決したり、自分らしさを発揮したりして、社会の力になる活動です。今年も、小児がんのこどもたちを支援するレモネードスタンドを、いずみ野文化祭に出店。また、いずみ野地域ケアプラザではじまった多世代食堂、天王森泉公園で行われたもちつきイベントのボランティアにも挑戦しました。いただいた「ありがとう」の言葉に、こどもたちが自信を積み重ねる体験となっています。



レモネードスタンド寄付18,443円

(お客様からの募金を含む)

3、地域の中でこどもたちを支えたい

地域×地域～横のつながりでこどもや保護者の支援を～

泉区こどもの居場所連絡協議会

情報共有と地域全体でのサポートを目指して、かけはしが声をかけ発足した組織です。公設・私設の団体が共に運営しています。今年は、泉区役所主催の不登校支援連絡協議会が発足し、学校、行政とともに、協議会の参加団体も参加してつながりました。また今年も、こども若者の居場所マップを泉区民祭りで配布。研修では、定期制戸塚高校の先生をお招きし、学生と地域をつなぐ取り組みについて学びました。



6回開催 参加24団体

soil子どもの居場所事業

旭区希望ヶ丘エリアで、子どもの居場所づくりを行う5団体で、「まち全体を子どもの居場所に」を理念にネットワークをつくりました。月1回情報共有をしています。今年は、参加団体で協力し、soil祭を開催して、たくさんの親子が参加しました。



かけはし×地域～地域の居場所で共に支え合う～

地域の居場所支援・学習支援

かけカフェを地域の方に開き、地域活動の拠点として利用していただけるように運営しています。こども食堂、駄菓子イベント、小物づくりサークル、ご近所の方の集い、教員の集いなどが開かれています。かけはしとしては、かけはしでは、地域の小学校からの声を受けて、地域のボランティアとともに学習支援を行い、こども食堂のお手伝いをしています。また、同学区にある地域ケアプラザ主催の小中学生の居場所支援もしています。



学習支援@かけカフェ

参加者のべ1411名

4、居場所でのこどもたちの姿を伝えたい

居場所×社会～より多くの方々に居場所のことを伝えたい～

広報・啓発活動

かけはしライターを中心に、かけはしの活動についてホームページのブログやSNS (Instagram、Twitter、Facebook) で発信したり、代表が講演活動を行ったりしています。

研修 講演 授業 28回

居場所×学校～こどもを中心居場所と学校のかけはしに～

学校連携

一人ひとりの子どもの状況は各学校と共有されており、まなべるいばしょ・ちいきのいばしょを、出席日数として認めていただいています。

学校訪問50校

いづみ野の居場所をオープンしました 2024年4月～



第2回クラウドファンディングやご寄付、リフォームのボランティアなど皆様からいただいたご支援で、いづみ野に常設の居場所を開くことができました。本当にありがとうございます。

クラウドファンディングでは373名の方がサポートしてくださいました。目標額を超えた金額は、すべてこどもたちの活動に使わせていただきました。

新しい居場所のあたたかい雰囲気の中で、こどもたちはその子らしく育っています。

かつどう ひろ こどもたちの活動が広がりました



駐車場スペースに人工芝をはり、外で過ごせるようにしました。一人で居たいとき、落ち着きたいときに利用できる個室スペースもつくりました。

もくひょう
クラファンの目標を
たっせい
達成しました

4,867,000円

目標に対し124%でゴールイン!!

プロジェクトの目的は、こどもたちの居場所をつくること。スーパーの跡地を居場所として利用したため、修繕費用が必要でした。

主な修繕は

- ・広い部屋（杉の床、壁、照明）
- ・小さい部屋とトイレの新設
- ・エアコン、換気扇の修繕
- ・その他（管理・処分費・交通費・保険など）



皆さまからいただいた資金でペンキを購入し、こどもたちと居場所のリフォームに挑戦しました



実際にこどもが乗れるサイズの車を段ボールで制作、セメントやペンキを使った本格的ジオラマ工作、お泊り会の実施など、活動が広がりました。こども一人で居場所に来られるようになり、片付けや掃除などに積極的に関わってくれたりする姿も見られます。



こどもたち一人ひとりが安心できる居場所を目指しています。「静かな落ち着いた場所が欲しい」という子どもの声を反映して和室スペースを新たに作りました

ちいき れんけい 地域との連携に 感謝

いづみ野に活動拠点を移して1年。地域の方や団体がかけはしを支えてくださっています。



TSUBAKI食堂さん



いづみ野地域ケアプラザさんやいづみ野コミュニティハウスさんは、臨床心理師と親子の相談事業で利用させていただいている。この他にもご紹介しきれない連携がたくさんあり、感謝しかありません。

学校連携 枠組みを超えてその子と学校の架け橋になる

かけはしは団体設立当初から学校連携に取り組んできました。それは、わたしたちと学校の先生が手を取り合い協力し合うことで、その子のことを理解し支えることができると考えたからです。

全50校との連携 (横浜市内47校 横浜市外3校)

泉区16校・旭区12校・瀬谷区5校・
戸塚区7校・磯子区3校・緑区3校・港南区1校
茅ヶ崎市1校・綾瀬市1校・藤沢市1校



学校連携の様子。左から代表廣瀬・校長先生・担任の先生・専任の先生
先生方の熱い思いに感動するとともに、連携について共有できました

ハートフル西部・まなべる居場所での子どもの活動の様子を、在籍している学校へ訪問したり、お電話をしたりして年3回学校連携を行っています。校長先生、児童生徒支援専任や担任の先生と日々の活動の記録をもとに、情報共有を丁寧に行う中で、顔の見える信頼関係を築いています。

居場所に通う子どもたち一人ひとりの成長について学校の先生方に伝えることで、お子さんの理解を双方が深めること、そしてその子へのよりよい支援と一緒に真剣に考え、話し合っています。学校の先生方に、学校以外の学びの場・成長の場としての居場所の存在を伝えることにもつながっています。

学校連携が深まる① /

ほごしゃ おも 子どもや保護者の思いを がっこう つな 学校に繋ぎました



「学校に行ってみようかな」と伝えてくれた子の保護者の方から「本人の様子や状態が学校に伝わるか不安」という懸念が寄せられました。私たちは子どもの挑戦を後押しするとともに、学校の先生方に、その子の思い、現在の状態、そして学校で取り組めそうなことについてお伝えしました。また、先生方からの相談にも応じることで、子どもの思いを共に支えることができました。その結果、その子は現在、ハートフル西部と学校の両方に元気に通っています。

学校連携が深まる② /

しょうがっこう そつぎょうしうじょじゅよ 小学校の卒業証書授与を せいぶ おこな ハートフル西部で行いました



ハートフル西部、まなべる居場所かけはしの卒業式は中学3年生が対象ですが、今年度はじめて小学6年生の子ども3人が、かけはしの拠点で小学校の卒業証書を受け取りました。学校の先生方が、子ども本人や保護者の方の思いを受け止め話し合う中で、居場所での卒業式が実現しました。学校連携が深まっている成果でもあると感じました。

学校連携について聞きました！

元根岸小学校 小川先生

様々な理由で学校に登校できない、

学校のしくみがその子に合わないという状況がある中で、安心して過ごせる場所がハートフル西部になっています。

かけはしさんは年3回の学校連携で、その子がハートフル西部で過ごす中での自己決定、学び、様々な成長を教えてもらっています。

子どもの状況をまるで学校にいるかのように教えてくれます。

学校とハートフル西部がその子のことを共有することで、学校とハートフル西部が融合しているイメージがあります。

学校の枠しかなかったその子への支援が、学校連携によって更に支援の枠が広がっていると感じています。



保護者Tさん



かけはしからの提案で、学校から支給されているタブレットを使って担任の先生とやり取りをするようになり、学校の先生との関わりができました

保護者Mさん

不登校になってから、勉強の遅れが心配でした。かけはしに相談したところ、小学校と相談し支援を考えてくれました



任意団体“リスポーン”を立ちあげた
かけはし卒業生に聞きました

かけはしはどんな場所でしたか？



リスポーン
公式サイト



リスポーンで活動をする二人。活動の相談をする合間に、もじやくんのインタビューに答えてくれました

かけはしに通っていたKくんは「不登校の子どもの居場所を、自分たちで作りたい」と中学3年から“リスポーン”をつくり、活動をはじめました。同じくかけはしに通っていたTくんが加わり、2年が経った現在は高校に通いながら不登校の子のためにさまざまな取り組みをしています。

かけはしは今でも心の居場所、 否定されない場所

もじやくん：ふたりにとってかけはしはどんな居場所でしたか？

K：ここにいていい、行きたいと思った場所。かけはしでは仲間・つながり・経験ができたと思います。

学校とは別のコミュニティーだから、うまくいかないことがあっても「かけはしの友達がいるし大丈夫」と思えていて、今でも心の居場所です。

T：否定がない。好きなことを言ったときに、友達・スタッフ・ボランティアさん、その場にいたすべての人がそれを否定しませんでした。

かけはしで友達ができたことが、一番良かったことです。以前はあまり外にも出でていなかったけれど、今は遊びにいくようになりました。

高校生活、ずっと大変さが続くわけじゃない。なんとかなるよ。

もじやくん：高校生活はどうですか？

T：友達ができ、勉強やバイトもしています。大変なこともあるけど、楽しい。ある程度は大変でもずっと続くわけではない、なんとかなると思っています。そう思えるようになったのは、バイトを始めて勉強との両立ができるようになった頃から。

K：高校は時間があるから、自分で考えて、バイトやプロジェクトやってい

こうと思いました。大変だけど楽しい。着実に一步ずつ進めている感覚があります。

これからの道を自分でつくっている実感

もじやくん：リスポーンへの想いを聞かせてもらえますか？

T：Kくんにやろうといわれて始めた活動。不登校だったからこそ、この活動ができます。他の不登校の子にも、不登校でもよかったことはあるよと伝えたいです。

K：最初は思いつき。仲間や先生を巻き込んで大きくなって、自分の理想に近づいています。これからの道を自分でつくれたかなと思います。

わくわく農園 落ち着く居場所 「生きる」を学ぶ大切な場所



こどもたちの“やりたい” が広がる畑へ

かけはしでは、地域の方々のご厚意で畑をお借りし、「わくわく農園」の活動を続けています。2024年度も、りょうやさん（スタッフ：大野）が担当し、こどもたちと一緒に畑を耕し、種をまき、たくさんの野菜を育てました。

天王森泉公園での体験が こどもたちの成長に

今年度も天王森泉公園にて、田植えから稻刈り、さらに餅つきイベントのお手伝いをさせていただきました。



夏野菜の植え付け



田植えと稻刈り

こどもたちにとっては、初めての挑戦ばかりでしたが、勇気を出して一步を踏み出し、積極的に取り組む姿が見られました。餅つきイベントでは、こどもたちがスタッフの方々と協力しながら活躍し、「とても助かったよ！」と感謝の言葉をいただく場面も。新しい経験を通じて、こどもたちが自信をつける機会となりました。

たくさん人の力で サツマイモを収穫！

毎年恒例の「サツマイモ掘り」では、今年度はかけはしのこどもたちだけでなく、一般の方々にも参加できる収穫イベントを開催しました。かけはしのこどもたちと一般参加者はそれぞれ別の時間帯で収穫を行いました。



スイカの植え付け



サツマイモ収穫イベント

延べ30名以上の方々が参加。おかげで、広い畑のサツマイモを余すことなく収穫することができました。「たくさん掘れて楽しかった！」「思った以上に大きい！」という声が聞かれ、参加者にとっても満足度の高いイベントとなりました。

もっと楽しく もっと挑戦できる畑へ

わくわく農園の魅力は、「こどもたちのやりたい」が実現できる場であること。来年度はさらに収穫体験型のイベントを増やし、こどもたちがもっと畑を楽しめる環境をつくりたいと考えています。

りょうやさんは「こどもたちが自然の中でのびのびと過ごしながら、新しいことに挑戦できる場をつくりたいですね」と笑顔で語ります。わくわく農園は、こどもたちにとってただの畑ではなく、発見と成長の詰まった大切な居場所になっています。

かけカフェが「第三の居場所」になっています！！

2024年度にかけカフェは新たなスタートをきりました。主な活動内容をお伝えします。

学習支援を週に2~3日 行っています

2年前から始まった学習支援。



週2~3日の学習支援の開催が、地域のこどもたちにとって安心できる第三の居場所になっています。

こどもたちが自ら学習に取り組む姿、更に自分たちでイベントを企画したりする姿など、こどもたちがチャレンジできる場にもなっています。

2024年 78回開催
延べ689人の子が利用



わくわく食堂下和泉さんの協力で多世代食堂を開催！



月1回の多世代食堂の開催では、1回平均で30名のこどもたちや地域の方々がカレーライスを食べに来てくれました。

最初は小学生が多かったですが、今では中学生も来るようになっています。毎回、こどもたちの「大盛！」、「おかわり！」の声が響いています。



わくわく食堂下泉のみなさん。いつも美味しい食事をありがとうございます



お客さんだったこどもたちが「多世代食堂を手伝いたい」と言って、自動的に手伝ってくれています

ボランティア団体のシオンさんが月1回ほど、駄菓子屋さんを開いてくださいました

こどもたちが主体となってイベントを企画運営しました

ご支援くださったみなさまへ 2024.4.1～2025.3.31



2024年度、かけはしの活動へのご賛助・ご協賛をいただきまして、誠にありがとうございました。

立ち上げ4年目、常設の拠点を構えて活動を展開できる運びとなったのは、たくさんの方々のご賛助・ご協賛によるものと、心より御礼申し上げます。

これからも、こどもたちが安心しながら、自分自身を信じる力と自分の可能性を切り拓く一助となれるよう、尽力して参ります。

賛助会員（企業・団体）

旭ロータリークラブ
株式会社芦田商店
NPO法人あすなろ
イチキ大工
株式会社岡田屋
カスミメンテナンス株式会社
キッズフリマ企画
KMD YOKOHAMA
医療法人想愛会
サンクリニック小児科
株式会社スイベルアンドノット
株式会社ダイイチ
株式会社高須工房
戸塚倫理法人会
有限会社初鹿野建設
ファッジネット株式会社
横浜友の会
株式会社横浜メディアアド
NPO法人WE21ジャパンみどり
やまぐち呼吸器内科・皮膚科クリニック

賛助会員（個人）

あさい	さま	おたべ	さま	せんば	さま	まつもと	さま
あしだ	さま	かわい	さま	たかの	さま	むとう	さま
あんざい	さま	くさの	さま	たかはし	さま	もとすぎ	さま
いかわ	さま	くちだ	さま	たかやま	さま	やながわ	さま
いけなが	さま	こいで	さま	たぐち	さま	やの	さま
いしかわ	さま	さいとう	さま	たなか	さま	やはた	さま
いしはら	さま	さかい	さま	たなか	さま	やまさき	さま
いしもと	さま	さとう	さま	にしかわ	さま	やました	さま
いなだ	さま	しのざき	さま	のろ	さま	やまだ	さま
いぬつか	さま	しみず	さま	ばば	さま	やまもと	さま
いぬつか	さま	すずき	さま	ふせ	さま	よしだ	さま
いのまた	さま	すずき	さま	ふるかわ	さま	よしだ	さま
うつみ	さま	すずき	さま	まつだ	さま	よねもり	さま

委託団体

横浜市教育委員会
「ハートフル西部事業業務委託」

協賛・協力（企業・団体）

株式会社ONE FOR ONE
横浜銀行
ゆめが丘ベリーキャンプ場
株式会社 シンコー
ぬのかわ犬猫病院
株式会社富士モーターサービス
リヨーコーホーム株式会社
株式会社大桜工業
有限会社ベイ・スクエア
損害ジャパン代理店
TSUBAKI食堂
神奈川県食肉事業協同組合連合会
株式会社相鉄ビルマネジメント
レストラン ペタル ドゥ サクラ
横山農園 いろどり畑
萩原企業株式会社
特別養護老人ホーム 白寿荘
ボランティア団体シオン
有限会社シミズ
YUMEGAOKA SUNDAY BREWING
goût goût YUMEGAOKA
中の原自治会
いずみ野地域ケアプラザ
いずみ野コミュニティハウス
いずみ台公園こどもログハウス
阿久和小学校文化・スポーツクラブ

助成団体

一般財団法人日本民間公益活動連携機構 JANPIA
「困難を抱え孤立する子ども・若者の社会的自立支援事業助成」

日本財団
「子ども第三の居場所プロジェクト」

公益財団法人かながわ生き生き市民基金
「福祉たすけあい基金助成金」

クラウドファンディング（企業・団体）

横浜旭ロータリークラブ	かすみメンテナンス株式会社
株式会社いしわたり	KMD YOKOHAMA
株式会社猪俣製作所	株式会社珈琲鳴館
合同会社SMB	株式会社ドクター総合支援センター
株式会社大塚機工	有限会社三誠塗装社
株式会社大桜工業	やまぐち呼吸器内科・皮膚科クリニック
オカンの駆け込み寺	株式会社リバード
有限会社恩田工業	

(順不同)

ご支援くださったみなさまへ 2024.4.1～2025.3.31



クラウドファンディング（個人）

あおいし	さま	おおの	さま	さこ	さま	たにぐち	さま	みうら	さま
あおき	さま	おおの	さま	さこ	さま	たむら	さま	みうら	さま
あさひな	さま	おおば	さま	ささき	さま	たむら	さま	みずほり	さま
あべ	さま	おおば	さま	さたけ	さま	たや	さま	みはし	さま
あんざい	さま	おかだ	さま	さとう	さま	とき	さま	みわ	さま
いいざわ	さま	おがわな	さま	さとう	さま	とくぎ	さま	むとう	さま
いしい	さま	おぐら	さま	さとう	さま	とよおか	さま	むなかた	さま
いしかわ	さま	おざわ	さま	さとう	さま	なかがわ	さま	むらき	さま
いしだ	さま	おのでら	さま	さとう	さま	なかき	さま	むらまつ	さま
いしばし	さま	おのでら	さま	しなの	さま	ながさわ	さま	めら	さま
いしま	さま	かさじま	さま	しのざき	さま	なかじま	さま	もり	さま
いしみね	さま	かとうの	さま	しまだ	さま	ながしま	さま	もりかわ	さま
いしもと	さま	かどわき	さま	しらと	さま	にいつ	さま	もりた	さま
いちじ	さま	かわさき	さま	すがぬま	さま	にしお	さま	もりた	さま
いちだ	さま	かわしま	さま	すがわら	さま	にしわき	さま	やざわ	さま
いちだ	さま	かわむら	さま	すぎはら	さま	にった	さま	やすだ	さま
いちょう	さま	かわむら	さま	すずき	さま	はしもと	さま	やの	さま
いといがわ	さま	かんお	さま	すずき	さま	はせがわ	さま	やまがた	さま
いとう	さま	かんどり	さま	すずき	さま	はやし	さま	やまぐち	さま
いなだ	さま	きそう	さま	すずき	さま	はやし	さま	やまぐち	さま
いのうえ	さま	きたがみ	さま	すずき	さま	ひらいし	さま	やまぐち	さま
いのうえ	さま	きづ	さま	せきぐち	さま	ひらつか	さま	やまぐち	さま
いべ	さま	くどう	さま	せんだ	さま	ふかだ	さま	やまぐち	さま
いわざき	さま	くぼ	さま	たかお	さま	ふくだ	さま	やまざき	さま
いわた	さま	こいづみ	さま	たかた	さま	ふくまる	さま	やまだ	さま
うえき	さま	ごうじ	さま	たかのはし	さま	ふじもり	さま	やまなか	さま
うえき	さま	こが	さま	たかのはし	さま	ぶせき	さま	やまなか	さま
うすい	さま	こしかわ	さま	たかはし	さま	ふるさわ	さま	やまもと	さま
うみの	さま	こすげ	さま	たかはし	さま	ふるや	さま	やまもと	さま
うらの	さま	こまつ	さま	たかはし	さま	ほそみず	さま	よしの	さま
えぞえ	さま	こまつ	さま	たかはし	さま	ほりきり	さま	よしはら	さま
えとう	さま	ごみ	さま	たかやなぎ	さま	ほんだ	さま	よしみ	さま
おおき	さま	こもり	さま	たかやなぎ	さま	まえだ	さま	わだ	さま
おおき	さま	こやなぎ	さま	たけうち	さま	まえはら	さま	わたなべ	さま
おおくぼ	さま	こんどう	さま	たけまさ	さま	ますだ	さま	わたなべ	さま
おおくま	さま	さいとう	さま	たじま	さま	まつい	さま	わたなべ	さま
おおしま	さま	さいとう	さま	たなか	さま	まつだ	さま	わたなべ	さま
おおた	さま	さかぐち	さま	たなか	さま	まつばら	さま		
おおたき	さま	さかにし	さま	たなか	さま	まつもと	さま		
おおたに	さま	さかもと	さま	たなべ	さま	まつもと	さま	(順不同)	

その他、お名前を掲載されない方々を含めて、たくさんのご支援をいただきました。ありがとうございます。

そして、ハートフル西部・まなべる居場所・ちいきの居場所・わくわく農園で共に寄り添ってくださったボランティアのみなさま、特別講座・こどもキャリア大学にご協力くださった講師のみなさま、活動場所を提供してくださった公共施設のみなさま、かけカフェや学習支援の運営にご協力くださったみなさま、応援してくださったみなさま・・・。たくさんの方々に支えられて、かけはしの活動を続けています。本当にありがとうございます。

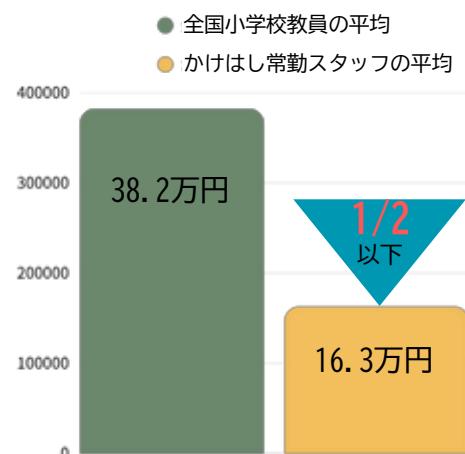
こどもに寄り添う運営形態を維持するために 皆様のお力が必要です

現在、私たちの居場所では、常勤スタッフの給与は小学校教員の平均の半分以下、専門職の公認心理師においては横浜市の雇用水準の3分の1ほどです。スタッフは毎日、こどもたち（24年度の会員登録人数は76名）の「会いたい」に応える存在となり、安心して過ごせる居場所づくりに力を尽くしていますが、このままではこどもたちに寄り添う運営形態を継続できない可能性があります。

助成金422万円の終了（2025年度末）に向けて、現在のご寄付400万円に加えて、新たに300万円のご支援を目指しています。その内訳は、月5,000円の毎月サポーター30名で180万円、月1,000円の毎月サポーター100名で120万円です。

こどもたちが「また明日も行きたい」と思える場所を守るために、ご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。ご支援方法については裏表紙をご覧ください。

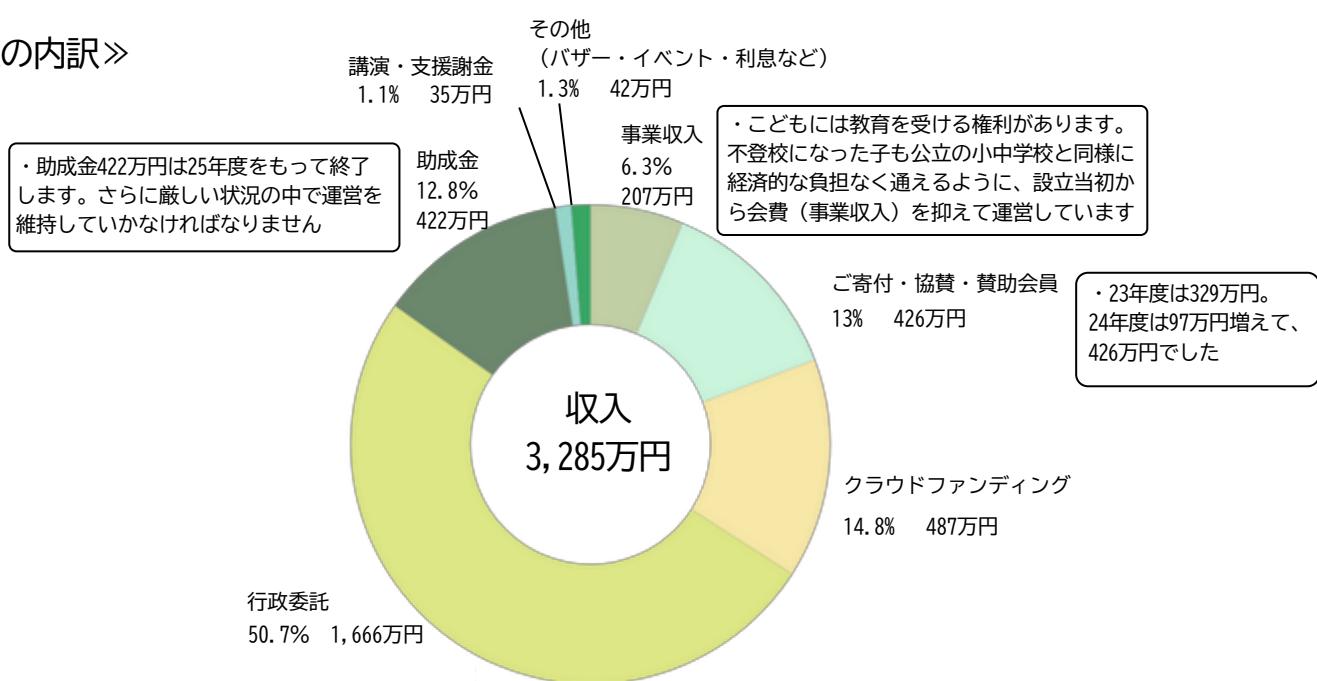
(図1) 教員とかけはし常勤スタッフの月給比較



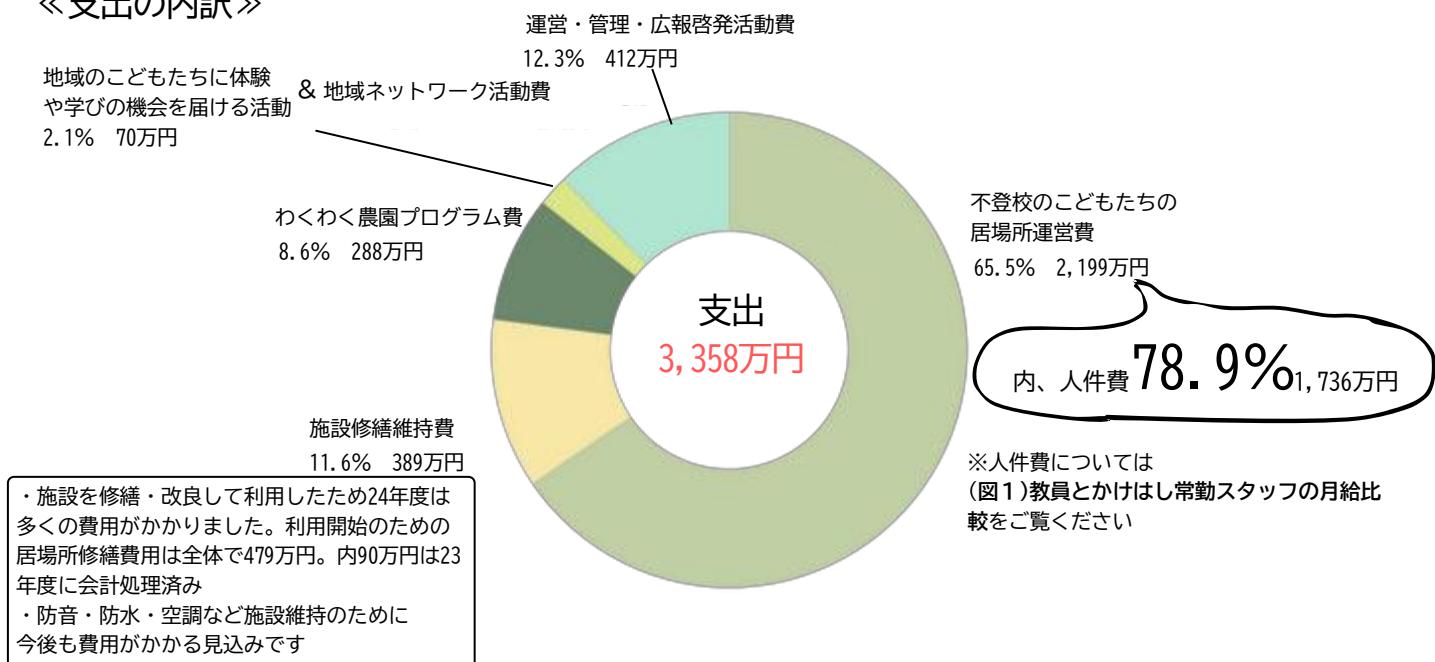
収支報告：一般社団法人かけはし (非営利型)

期間: 2024.4~2025.3

«収入の内訳»



«支出の内訳»



ご挨拶

こどもたちと共に歩む

「今、土の中に混ぜた堆肥は、3年後のためだよ。」

私が小学校の先生だった時に、農業指導をしてくださっていた農家さんに教えていただいた言葉です。毎年、継続して堆肥を混ぜていくことで、本来の力が土に蓄積され、目に見える成果が表れるまでにはじっくりと時間がかかるのだそうです。

ということは……。かけはしの今の“まなべる居場所”的姿は、3年前からの営み（土づくり）がじっくりと時間をかけて育まれてきたものだと考えることができます。

では、かけはしのまなべる居場所にとっての堆肥とは何でしょうか？

私は、人だと思うのです。かけはしの居場所にはこれまで本当にたくさんのボランティアさん、地域の方々、特別講座の講師、応援してくださる方々が、こどもたちのために思いをもって支えてくださいました。その思いが、かけはしの居場所づくり（土づくり）の無くてはならない栄養となり、ふかふかな土へと成長させてくださったのではないかと思うのです。

3年以上前から、かけはしに来てくれているこどもたちがいます。まだ常設の居場所もなく、毎日が試行錯誤の居場所づくりの日々と一緒に過ごし、一緒に居場所を創ってきたこどもたちです。

そして昨年度、念願だった常設の居場所ができ、新たなスタートを切った一年間。順調に見えたその歩みの中で、3年以上前から一緒に歩んできたこどもたちから言葉を投げかけられます。

「自分が自分を好きになれる居場所になっていない。ぼくの居場所はなくなった。」

「自分のやりたいことがやれない。」

「一人にさせないで。」

私は、その一人ひとりのこどもの声を真剣に受け止め、胸に刻みました。来てくれるこどもも、支えてくださる大人も常に変化していく居場所づくりの中で、こどもたちは、私たち大人をよく見てくれていて、たくさんのことを感じながら、私に本音を話してくれたのです。

大人の思いではなく、こどもたちの声を最優先する。それは、かけはし創設当初の私の思いです。

いつもピンチのときに救ってくれるのはこどもたちであり、いつも大事なことを教えてくれるのは、こどもたちでした。

かけはしの居場所とは、こどもたちと一緒に創ってきたことに唯一無二の価値があり、こどもたちが素の自分を出してもいいと思えるあたたかな雰囲気の中で、培われてきたお互いの信頼関係の場づくりでした。その信頼関係には、こどもたちを愛し、支え続けてくださった保護者の方々の協力があることが本当に大きいと思います。

これからも、かけはしは、こどもたちと共に歩んでいきます。そして、すべての方への感謝を忘れることなく、居場所づくりに全力で向き合っていきます。

そして、これからもこどもたちから学び、よりよい居場所づくりとは何かを問い合わせながら、一歩一歩、進んでまいります。これからもご指導の程、どうかよろしくお願ひいたします。

一般社団法人かけはし
代表理事 廣瀬貴樹



かけはしへのご支援一覧

かけはしボランティア募集!

かけはしの活動は、ボランティアのみなさまに支えられています。

「ただ、そばにいてくれる」それだけで、こどもたちの心はあたためられています。

ご興味ある活動を、ぜひ一緒に楽しんでいただけたらありがたいです。



新しい寄付の形が
できました!



かけはしホームページ



居場所ボランティア (いずみ野・希望ヶ丘)

こどもたちが安心できる居場所をつくるため、こどもたちの思いを応援する伴走者として一緒に活動します。



学習支援ボランティア (いずみ野・希望ヶ丘・かけカフェ)

こどもたちが宿題や自主学習に取り組む場での学習支援です。学生さんも大歓迎!



わくわくのうえん ボランティア (泉区内)

土づくり、畝作り、植え付け、草取り、収穫のお手伝い。こどもと活動する日もあります。



かけカフェ ボランティア

2024年度より、新たなスタートを切りました。(p7 参照)
具体的な活動内容はお問い合わせください。



ホームページのボランティア募集からも、お申込みいただけます。

賛助(寄付)会員・協賛のお願い



かけはしの趣旨に賛同し、活動を応援してくださる賛助会員(個人・団体)、ご協賛いただける企業さまを募集しています。

みなさまからのあたたかい出資金が活動資金となり、こどもたちの今とみらい、そして、まだ知らない自分や社会をつなぐかけはしとなります。

NEW!

寄付方法が選択できるようになりました!

これまで単発寄付のみのご案内でしたが、『定期的に寄付したい』とのお声を頂き、サブスクリプション(毎月)でご寄付いただける仕組みを作りました。寄付決済を運営するコングラント株式会社は、社会貢献活動に特化したプラットフォームを持っています。これまで通り、単発のご寄付でもサブスクリプションでも、こちらから受け付けております。金額は1,000円~自由に設定可能です。

右のQRコードと下記URLからご覧いただけます。
<https://congrant.com/project/kakehashi/13629>



かけはし応援サイト

●銀行振込でのご寄付も可能です

<お振込先>

銀行名: 横浜銀行
支店名: 和泉支店(店番: 354)
預金種別: 普通口座 口座番号: 6187917
口座名義: 一般社団法人かけはし
代表理事 廣瀬貴樹

研修・講演・授業のご依頼



研修・講演・授業内容は、「こどもへの寄り添い方」「不登校のこどもたちの居場所づくり」「かけはしが考えるこどもたちに必要な支援」「地域の居場所作り」「起業や非営利事業にふりかかる課題と失敗談」「学校/行政/地域との連携」など。寄り添い方～組織運営/地域連携まで幅広く講演を受けてきました。みなさまからのご依頼をお待ちしております。

- 今年度の実績: 28件
- 開催場所: 横浜市内各学校・各施設・川崎市・東京都・京都府など
- ご依頼元: 小中学校・大学・子ども会・保護司・青少年指導員・民生委員・地域福祉関連・各関係機関など

ご依頼は info@kakehashi.link までご連絡ください。

※研修・講演・授業の謝金は、かけはし運営のための資金にさせていただきます。

編集後記

かけはしんぶんは、かけはしに参加しているこどもたち、保護者の方、ボランティアさん、スタッフで力を合わせて楽しみながら作りました。みなさまへの感謝と、あたたかな場の空気感をお伝えできれば幸いです。

かけはしんぶん制作係